

夏みかん救出プロジェクト

つくしの園庭に、夏みかんの樹が2本あります。
黄金色の大きな実が、毎年この時期たわわに輝いています。
ところが、どうしたことでしょう。
そのうちの1本が今年は元気がありません。
ほんの数えるほどしか、実がついていないのです。

「きっと栄養が足りてないんだよ」とのアドバイス。
そういえば元気な方は畑に立ち、土は柔らかで肥料も豊富。
一方、元気のない樹の足元は、かちんこちんの固い土。
子らに毎日踏み固められているのだから、無理もない。
というわけで“夏みかん救出プロジェクト”のはじまり。

こちらがまずはお昼ご飯で栄養補給。続いて、つるはし片手に
「いざ、園庭へ！」と、最初は威勢も良かったが…
かちんっ。こちんっ。かちんっ。こちんっ。
固い土はまるで石のよう。叩く度はね返され、しびれていく両手。
1時間余。ようやく遠巻きに溝（のようなもの）ができあがった。
だがその時点で、年のせいか、こちらの体はもう限界。
そんな矢先。向こうの方から、ざわざわと元気な声。見ると…
お昼をすませた年長さんたち。「なになに、なにやってんの？」
「夏みかんにな、栄養あげよと思ってんねんけどな」
「これなに？」と指さす先は、こんがり燻した黄金色の有機肥料。
つくしの新しい魔法の機械が、安全食材の残りを醸しこしらえた。
「みんなが食べたお昼の残りから作ったんや。栄養満点やで」
「ほんまや、かぼちゃの種、はいってる！」
「よし、手伝う」と、みんな手に手にスコップを取り出して
黄金色の魔法のパウダーを桶から溝へそっと蒔き、土をかぶせ
からすに食べられないよう、仕上げはしっかり運動靴で踏み固め

そうしてまた、いつものように園庭を駆け、遊び始めた年長さん
やがて季節はめぐり、君たちがまた遊びに来てくれる来年の今頃
魔法のパウダーは地中深くしみこんで、栄養をいっぱい樹に送り
見上げれば、満面黄金色の樹が君たちを笑顔で迎えているだろう。

(つくし保育園園長 つだかずお)

<礼拝のご案内>

毎週日曜日あさ10時30分 だいが教会
心あたたまる讃美歌、聖書のおはなし。共に主に感謝しましょう
はじめての方を歓迎します